

# 議員定数に関する特別委員会記録

令和7年11月 6日（木）

6階 第1委員会室

出席委員（ 8名）

子 籠 敏 人議員

国 松 まさき議員

たばた あずみ議員

中 村 一 広議員

増 崎 俊 宏議員

しょうじさとし議員

辻 よし子議員

中 村のりひと議員

議 長

臼 井 建議員

議会事務局出席職員

議会事務局長 大久保 学君 議会事務局次長 吉 崎 淳 二君

議事係長 野 口 咲 子君 議事係 星 野 千 愛君

午後 3時35分 開会

○委員長（子籠敏人議員） では、ただいまから議員定数に関する特別委員会を開会いたします。

本日、議長が出席しておりますので、御報告いたします。

ただいまの出席委員は8人全員であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

————— ◇ —————

○委員長（子籠敏人議員） それでは、日程に従い進めさせていただきます。

日程2、協議事項、(1) 報告書についての件を議題といたします。

これについては、前回の委員会を受けて、今日、皆様のほうに事前に報告書の案文をお渡しさせていただいておりますので、それを見ながら順次気になるところとかをお伝えいただいて、仕上げの作業とかにつなげていきたいと思っております。

皆さん、お手元に資料をお持ちだと思いますので、表紙、目次とあって、早速、1はじめにの部分から具体の文章が始まりますので、そこについて順番に気になるところを今日は言っていただこうかなと思います。

まず、1のはじめにのところで、ここをこうしたほうがいいのか等々の御意見がありましたら、どなたでも結構ですので出していただけたらというふうに思います。どうでしょうか。

辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） はじめにのところの3つ目のパラグラフですね。第3段落目のところの、これに対し、令和7年1月29日付けで市長から、議員報酬を引き上げる旨の回答があったほかとあるのですけれども、これは議会からあきる野市特別職報酬等審議会に諮問してくださいということに対して、これに対してというふうに受けているので、ここの文章は、令和7年1月29日付けで市長から、あきる野市特別職報酬等審議会の答申を受け、議員報酬引上げの条例案を議会に諮る旨の回答があったほかといったような、このとおりでなくてもいいのですけれども、そういう形に直したほうがいいのではないかなと思います。

○委員長（子籠敏人議員） ありがとうございます。

今の辻委員からの御発言の件について、皆さんどうですか。大丈夫そうですか。いいと思いますか。

では、その点を踏まえて、ちょっと直しをするというふうな方向にしましょうか。

ほかのところで気になる点とかがある方、さらにいらっしゃったら御発言いただいてもいいでしょうか。

たばた委員、どうぞ。

○委員（たばたあずみ議員） 最後のほうですね。一定の方向性が示されたというのは、若干ちょっと私、引っかけりは感じるのですけれども、みんなでいろいろ話し合いながら、いろいろばらばらだったところを少しまとめたといったという意味ではそういうことなのかなと思います。そこがもうちょっと話し合った結果というのが伝わりやすくなるように、その前の文章の計●回にわたり委員会を開催して1回切ってしまって、開催したで丸にして、その後、協議ではなくて、熟議を重ねた結果、議員定数の在り方について一定の方向

性が示されたことからというふうにすると少し伝わりやすくなるかなというふうに思います。

○委員長（子籠敏人議員）　ありがとうございます。

今、たばた委員からお話があった点については、皆さんどうでしょう。もう一回確認で。

○委員（たばたあずみ議員）　開催したで1回切ります。熟議を尽くした結果という形にすればいいかなと思います。

○委員（中村一広議員）　結果、議員定数の在り方につながるように。

○委員（たばたあずみ議員）　はい。

○委員長（子籠敏人議員）　どうでしょう、皆さん、よろしそうですか。

では、そのような方向でいきましょう。

ほかに1のはじめにのところはどうでしょう。大丈夫そうですね。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員）　では、次は2の議員定数に関する特別委員会設置について、これは本会議で設置されるときの内容を持ってきたものなのですけれども、ここは特段何かあったりしますか。大丈夫そうですね。

（「なし」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員）　では、2はそのままでいかせていただいて、3の検討結果のところに移りましょう。ここで気になるところとかがある方、言っていただいてもいいでしょうか。

辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員）　ちょっとこの辺の文章が分かりにくいので、2行目のところですが、その一方で、議員報酬の全体額をというのを、ここに全体額というのを入らせていただいて、全体額を増額前に戻した上で、現状の定数を維持することが望ましいとの意見や、その後を少し削除して、1人増員し、22人にすることが望ましいとの意見があったにしたほうがすっきりするのではないかと思います。

今、意見やか、意見とか、どっちがいいのか分かりませんが、現状の定数を維持することが望ましいとの意見と、それから、1人増員し、22人にすることが望ましいとの意見があったのほうがいいですかね。そのほうがいいのではないかと思います。

○委員長（子籠敏人議員）　ありがとうございます。

どうでしょう。皆さんのにもそのほうがすっきりめで分かりやすくなりますかね。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員）　分かりました。

事務局、大丈夫。局長、あればどうぞ。

○議会事務局長（大久保学君）　全体額を戻した上で、現状維持と1人減らす。

○委員（辻よし子議員）　1人増員。

○議会事務局長（大久保学君）　1人増員ですよね。現状額に戻した上でだと、要は21人分の全額が元に戻る。で、現状維持。1人増やす分というのは、そこでまた現状額に戻した上で1人増やすと、1人分増えちゃうんじゃないのというふうに。

○委員（辻よし子議員）　そういうふうに思えちゃう。

- 委員（たばたあずみ議員） 議員報酬の全体額を増額前に戻してだから、全体額。
- 議会事務局長（大久保学君） 全体額を戻して。
- 委員（辻よし子議員） 全体額は変えずにということですよ。
- 議会事務局長（大久保学君） 変えずにだけれども、ただ、戻して全体額を変えずという  
と、元の総額は固定ですよ。ただ、そこで1人増やすとなってしまうと。
- 委員（辻よし子議員） 報酬が減るんです。
- 委員長（子籠敏人議員） 発言する前は手を挙げてね。

たばた委員、どうぞ。

- 委員（たばたあずみ議員） もしも上でという話にすると、増額前に戻した上で、今の直し方で私、いいかなと思ったのですけれども、戻した上でだと、1回戻す。で、その後に今までどおりなのか、1人増やすだと、1人増やした分が増えちゃうという読み方をされると  
いうことを心配するのであれば、上でではなくて、やはり戻しつつとか、上でって1回やった  
その後で何か加える形になるのかなというふうには思います。私も最初そういうふう  
に読んだので。

- 議会事務局長（大久保学君） その額に対して。

- 委員（たばたあずみ議員） 戻しながらとか、戻しつつみたいな、戻したのはそのまま維持  
するんですよというところが伝わるようにする必要があるのかなというふうには思いま  
した。

- 委員長（子籠敏人議員） 辻委員、どうぞ。

- 委員（辻よし子議員） そうすると戻しつつということですか。

- 委員長（子籠敏人議員） そうしたら今、何人かの方から出た点を踏まえて、もう一回案  
文は考えますので、最初の御発言からすると、なるべく今よりもすっきりめにと。あまり  
重複した書き方にならないほうがいいのではないかなという御提案から始まったと思  
うので、ただ、そうすることによって、誤解を与えてしまうような表現、また違うよう  
に読み取れるようなことになってもしょくないので、その点踏まえつつで、少し局長は  
じめ事務局のみんなからもアイデアをもらいつつ考えますので、そのようにさせてくだ  
さい。

ほかの点で3のところはあったりしますか。ほかの点のところは大丈夫そうですか。

（「なし」と発言する者あり）

- 委員長（子籠敏人議員） ということで、今日のところは、3の検討結果のところは以上と  
しましょう。

次の4の検討結果に至る経過のところで気になる点、皆さんのが載せてありますので、そ  
の辺意見出していただけますでしょうか。

ちなみに、皆さんに今お配りしている案文の中では、分かりやすいように網かけになっ  
ていますが、それぞれの委員の方の発言として分かるように、いろいろなコメントの前  
には誰々委員というふうに振ってありますけれども、この網かけの部分は、最終的な成  
案になる段には、委員名のところは削除した上で、フラットに読めるようにしようと思  
っていますので、その点は踏まえていただいた上で御意見いただければと思います。

辻委員、どうぞ。

- 委員（辻よし子議員） それでは、4ページの2つ目の辻委員のところなのですから、

5、5、5、5のところで私が述べたのが、負担が大き過ぎると考えるというよりかは、1人だけ発言の機会とか視察の機会が多くなってしまうことが、公平性の観点から問題あるのではないかというのをどこかで言っていると思うので、その部分をむしろ挙げていただきたいと思いますので、そのように変更していただけないでしょうか。

○委員長（子籠敏人議員） 分かりました。

ほかにも同じような思いとかをお持ちの方がいるかもしれないので、どうぞこの際出していただければと思います。

しょうじ委員、どうぞ。

○委員（しょうじさとし議員） 案文をありがとうございました。私も辻委員が今おっしゃられたように、4ページのウのところなのですけれども、確かに載っている部分も発言してはいるのですけれども、より自分が重点を置いたところが、議事録に沿って載せていくべきだと思うのですけれども、そういう形が取ればいいなと思っています。

○委員長（子籠敏人議員） 具体的に言ってもらえると。一応お分かりのように、皆さん発言された議事録から拾ってはきているので、この内容もお話しにはなっていると思うのですけれども、その中でも、先ほどの辻委員みたいに、このことも話しているけれども、ここよりもこっちの内容のほうが書いてほしいんだと。

○委員（しょうじさとし議員） 先ほどというか、この全体を見て、委員長が、各委員に公平性があるようにボリュームとかを一定程度にしていっていると思っているので、その中で変えることができたかなと思うのですけれども、例えば私では、4常任委員会と主張するときに、専門性が高まることであったりとか、逆に、あきる野市にとっての特徴は何なんだろうみたいな議論を踏まえたときに、より細分化した4常任委員会がいいんじゃないかみたいなことも発言させていただいたので、そういったことを議事録を踏まえながら、また、さっきお伝えしたボリュームに気をつけながら、御提示させていただけたらと思います。

○委員長（子籠敏人議員） 分かりました。

ほかの方とかはどうでしょうか。たばた委員、どうぞ。

○委員（たばたあずみ議員） まだ全部の議事録とかを自分でも読み返しながらやっているわけではないので、できれば1回議事録に目を通して、自分で、せっかく言っていたのに忘れてしまっていたところとかがあるかもしれないので、そういったところを少し拾い出せればいいなと思っています。なるべくそんなに増えない形でですけれども、ぜひそこを検討させてください。

○委員長（子籠敏人議員） ほかの方とかはどうですか。中村一広委員、どうぞ。

○委員（中村一広議員） 委員長と事務局の皆さんに御苦勞いただいて、よくまとまっていると思いますので、私はこのままでもいいのかなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（子籠敏人議員） 辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） この委員会の中でアンケートのことも検討したと思いますので、アンケートの部分を、こういう形のアンケートも考えてみたけれども、こういうことが障害になって、結局やらないことになったみたいなことをどこかに入れていただきたいと。

入れるとしたら(3)の前になるのかなと思いますので、あまり長くない程度に、そこにアンケート調査の検討についてとかそういう形で入れていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長(子籠敏人議員) 中村一広委員、どうぞ。

○委員(中村一広議員) アンケートについてなのですが、実施に最終的には至らなかったという部分もあるので、どなたかの委員の中の意見にそれを入れ込むというのはどうなんでしょうかね。議論はしましたが、最終的に、それを形に結果としてやりましたというのであれば、括弧書きで項目をつくって入れるというのがいいと思うのですが、至っていない部分があるので、そこら辺の部分はどなたかの意見のところにもしあれだったら盛り込んでいただくようなことというのはどうなのかなというふうに思いました。

これは意見です。

○委員長(子籠敏人議員) この点について少しありますか。辻委員、どうぞ。

○委員(辻よし子議員) 意見というと、具体的に意見は今、議員定数についてというところと、それから委員会構成についてとあって、そこにそれぞれの意見が出ていますよね。その中に入れるということになってしまいますよね、別立てにしないとなると。それはなかなかちょっと難しいのではないかな。要するに議員定数を何人にするのがいいのかということの、議員定数は何人がいいか、その根拠はという意見の出し方ですよね。それから、委員構成はこうすべきでないか、その理由はという、そういうことなので、その中に入れ込むというのはちょっと難しいかなと思うのですが、それでも。

○委員長(子籠敏人議員) たばた委員、どうぞ。

○委員(たばたあずみ議員) 具体化しなかったということでは、委員会の構成とかについても、5、5、5、5とか実現しなかったこともあるわけで、具体化しなかったからという話だけにしてしまうと、全体の意見をきちんと入れていくというところには合わなくなってくるかなという気がしています。

あと、アンケート、もちろん具体化しなかったのは確かなのだけれども、ほかのところに入れてしまうと、このアンケートについて皆さんちゃんと意見を出し合って、議論してくださっていることなので、それはそれで、こういうことでやったほうがいいんじゃないのとか、やれる方法はないだろうかということをいろいろ模索したけれども、そこには至らなかったよというところで、できなかったというのを書くことも、それは結果の報告として意味があると思うので、そこは一つ項目として別立てにしたほうが読む人にも分かりやすいと思います。

○委員長(子籠敏人議員) という御意見もありました。どうでしょう、皆さんの。両方今あるところですが、どう取り扱おうかというところで、委員の方の意見が少し聞きたいかな。

しょうじ委員、どうぞ。

○委員(しょうじさとし議員) アンケートについては、やはりしっかり時間をかけて取り組んだ部分だと思いますので、別立てで載ったほうがいいのかなと思いました。先ほどのこの会議の前の会派代表者会議でも、市民ポストに市民の方から議員定数に対する考え方に対して意見が寄せられたというお話もありましたけれども、そういったことも踏まえる

と、アンケートにしっかり着手しようとしたという議会の取組というのは示したほうがいいのではないかなと思います。

○委員長（子籠敏人議員） 中村のりひと委員とかどうですか。どうぞ。

○委員（中村のりひと議員） アンケートね。6ページの調査・研究事項のところに確かに入っていて、載せるとなると結構な分量になると思うんです。ちゃんと載せるというのが、いろいろな意見が出たからアンケートを載せるとなると、僕が考えるには、多分ほかの4番とか、検討結果に至る経緯とかよりも、載せようとする大変なんじゃないかなと思うんです。ただ単に検討しましたというだけで終わるところではないじゃないですか。そう考えると、載せてもいいと思うのですけれども、どう載せるのかみたいところはなかなか難しいなというのがあります。それをずっと考えていました。

○委員長（子籠敏人議員） 国松委員、どうですか。

○委員（国松まさき議員） 全体のこの報告書は、簡潔でよくまとめていただいているなという感じがします。いろいろ12回議論を重ねてきた中で、これだけ簡潔に意見を抽出してまとまっているというのはすばらしいなと思います。

そういった中で、アンケートのことも話してきましたが、この簡潔さがちょっと損なわれちゃうかなという感じもしますし、議員定数に関する本質的なところは入れていただいているので、アンケートに関して結果的にやれなかったというのもあるのですけれども、入れなくてもいいかなと僕は思っています。

○委員長（子籠敏人議員） 副委員長、いかがいたしましょう。

○委員（増崎俊宏議員） 私的には、アンケートについて協議しましたけれども、ここに載せていないという意図も分かります。ただ、この報告書を市民の方が見られたときに、我々の意見も聞いてくれなかったのかというふうな声が出る可能性もなきにしもあらずで、そこはしっかり議論して検討したのだけれども、たしか議論のときには、アンケートの信憑性とかそういった議論もあって断念したというような経緯もあったかと思うので、その辺のところを極力簡潔に載せる分には問題ないのではないかなというふうには思います。(3)の議会改革の推進についても3行でまとめてくださっていますけれども、それでまとめろとは言いませんけれども、どういった議論をして、どういった理由で断念しましたと、やらなかったんだということが分かるような内容というのは載せてもいいんじゃないかなというふうには思います。

○委員長（子籠敏人議員） 皆さんからありがとうございました。

そうしたら、今伺っている中では、端的に載せたほうがいいだろうというふうな御意見のほうが多かったなというふうに受け止めているのですけれども、皆さんそのところで御理解、一致点を見いだせるなら。内容とかは、なるべく今、副委員長からもあったような端的さというところでまとめられるかどうかということなのですからけれども、その方向でよろしければ、次に向けて案文とかも考えてみたいと思うのですけれども、中村一広委員と国松委員とか、御意見あればどうぞ。

○委員（中村一広議員） 意見とかを全部網羅するような形で載せるのは、私はあまりよくないかなと。今、増崎副委員長がおっしゃったように、端的に載せるのであれば、それはそれでいいと思うのですが、ずらずら意見を、いろいろな意見が、こんな意見も出まし

た、あんな意見も出ましたというような載せ方でなければいいかなとは思いました。皆さんの御意見をお伺いして。

以上です。

○委員長（子籠敏人議員） 国松委員、どうぞ。

○委員（国松まさき議員） 私も増崎副委員長がおっしゃるように、そういったシンプルにアンケートを検討して、こういった理由でできなかったということを最後のところとかに書くぐらいであればいいのかなと思います。

○委員長（子籠敏人議員） ありがとうございます。

最初に切り出してくださった辻委員とかからも、長くならない程度にというふうなお話もあったりしたし、その辺はちょっと考えてみますので、今、皆さんおおむねよろしいかなというふうに言うてくださったというふうに受け止め、理解していますので、そのような方向で、ちなみに場所としては、辻委員からも御提案があった（3）の議会改革の推進についての前のところに、（3）として新たに立てるというふうな方向で考えてみたいなというふうに思いますが、よろしいですか。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） このところは皆さんその程度で大丈夫そうですか。ほかに御意見とかがある方はいますか。

辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） 項番4のところ、検討結果に至る経過というところなのですが、検討結果に至る経過というのが、検討結果に至る経過と言うと時系列的に書くようなイメージがあるので、ただ、ここはそうではないかなと思いますので検討をお願いします。

○委員長（子籠敏人議員） という御意見がありました。皆さんがどう思われるか。そんな方向で、経過という単語が入っているので、ちなみにこれを入れた心は、それぞれの（1）の議員定数についてのところも5月12日というふうな日付を打っていたりとか、委員会構成についても8月7日の委員会のこととかに触れたりもしていたので、そういうふうな表現も入れさせてもらったのですけれども、御意見的には、意見を皆さんのを並べさせていただいているので、例えばですけれども、今、検討結果に至る経過のところを、検討結果に至る主な意見とか、そうするとこのような意見が出ましたというので分かりやすくなるかもしれないので、そのような表現とかを少し考えさせていただこうかなというふうに今思いましたけれども、皆さんの的にもそのようなことだというふうなことでいいですかね。そんなふうに思われているということですかね。

分かりました。

あとほかにはありますか。どうでしょう。

なお、なければ、私のほうから、少し前に戻って、先ほどたばた委員から出た御意見の中で、議事録を1回読み返して、少し自分の言葉のところ、表現も確認したいというお話がありましたので、これまで必要に応じて議事録を見られて、確認されてきた方もいらっしゃると思うのですけれども、今回、事務局のほうにお願いをして、これまでの委員会の議事録を確認しやすいように、サイドボックス中とかにフォルダを、この特別委員会のフォルダの中にさらに議事録のフォルダをつくってもらって、そこにまとめて入れてもらって、



確認しやすいようにというふうにさせてもらえたらと思っているのですけれども、事務局的大丈夫ですか。次長、大丈夫だったら大丈夫と言ってください。

○議会事務局次長（吉崎淳二君）　大丈夫です。

○委員長（子籠敏人議員）　だそうなので、そのようにさせていただきたいと思いますので、御確認いただいて、このようにできたらなというふうなことを次の委員会のときに、それぞれ自分のところとかを見ていただいて、御提案もいただいて、みんなで確認して、よければそのように直そうというふうに進めたいなと思います。

辻委員、何かあればどうぞ。

○委員（辻よし子議員）　自分の文章をこんなふうに直したいというのを、次の委員会でその場で口頭で言っても、何かちょっとえってなってしまうかと思うので、前日まででもいいのでお互い出して、事前にざっと読んできたほうがいいのかと思うのですけれども、そう言って次いつでしたっけという。だから、もしできればそのほうが。当日でもいいですけれども、とにかく文章がないと難しいと思うので、その辺お願いします。

○委員長（子籠敏人議員）　分かりました。そうしたら、今の御提案についてのところだけ確認しましょう。次に委員会を予定している日は、前回確認させてもらっているように、11月17日月曜日の午前9時半からの予定です。今のだと、前日だと16日の日曜日とかとなるのですけれども、事務局とかは当然お休みでもあるので、どういうふうに流すかとかにもよるのですけれども、例えば事務局経由で上げてもらうとかサイドボックスに入れてもらうとなると、平日だと14日の金曜日になるのですけれども、14日がそもそも事務局がどういう体制かとか。

○委員（中村一広議員）　通告が終わった後だもんね。

○委員長（子籠敏人議員）　それか、次なる手だと、事務局を経由しないで出すということで、ラインワークスでいつも開催通知とかを流させてもらっているんで、そこにそれぞれの委員が流すと。当然、委員会を始めてその場面になったときには口頭でも改めて言ってもらって、記録の関係とかもあるので、そういうふうなラインワークスでやる方向でみんなはいい感じ。それはできないとかないよね。大丈夫だよ。事務局もそれでいいですか。何か気になるところはありますか。

次長、どうぞ。

○議会事務局次長（吉崎淳二君）　当日の資料としてサイドボックスに入れるのであれば。入れなくて大丈夫ですか。ラインワークスを見ながらでもいいですか。

○委員長（子籠敏人議員）　大丈夫だと思うよ。事務局の手を煩わせないほうがいい。

○議会事務局次長（吉崎淳二君）　預かって入れてもいい。

○委員（中村一広議員）　一番忙しいときなんだから負担かけないほうがいいよ。

○委員（たばたあずみ議員）　ラインワークスだったらタブレットで見られるので。

○議会事務局次長（吉崎淳二君）　大丈夫ですか。

○委員長（子籠敏人議員）　今、事務局からも、資料として用意しなくて大丈夫ですかという温かいお声がありましたけれども、それは自分たちでやろうというところでいきましょう。では、そのようにさせていただきます。

4のところまでを終えて、最後は、5はこれまでの開催してきた時系列、6は委員の名簿に

なっています。ここのところは特段変えられる余地とかなかなかないかなと思うのですけれども、これの並び方で大丈夫かというところですしけれども、いいですか。5と6のところ、気になるところありますか。

辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員）　ちなみに、この議員定数に関する特別委員会の委員会名簿の順番って、どういう順番なんですか。

○委員長（子籠敏人議員）　議席順じゃないですかね。

○委員（辻よし子議員）　議席順なのか。

○委員（増崎俊宏議員）　偉い人からかなと思った。

○委員（辻よし子議員）　その辺は今までの習わしにお任せします。

○委員長（子籠敏人議員）　ほかにはどうですか。大丈夫かな。

では、今日のところはこの程度で大丈夫ですかね。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員）　では、皆さんからも今日のところはよろしそうですので、(1)の報告書についてを終了いたします。

————— ◇ —————

○委員長（子籠敏人議員）　次に、協議事項、(2) その他に入りますが、皆さんから何かありますか。

（「なし」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員）　それでは、その他を終わります。

————— ◇ —————

○委員長（子籠敏人議員）　次に、日程3のその他に入りますが、皆さんから何かありますか。

（「なし」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員）　なければ、私のほうから、先ほども出ましたけれども確認で、次回の委員会の開催日についてです。

次回は、11月17日月曜日午前9時30分から開会したいと思います、よろしいでしょうか。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員）　では、そのように決定をさせていただき、次回は11月17日月曜日9時30分から開催することに決定しました。

では、以上をもちまして、本日の議員定数に関する特別委員会を閉会といたします。

本日も御協力ありがとうございました。

お疲れさまでした。

午後 4時11分　閉会

————— ◇ —————

あきる野市議会委員会条例第29条の規定により、ここに署名する。

委員長　子　籠　敏　人